

週間漁海況情報 2023年第41号

令和5年10月10日発行

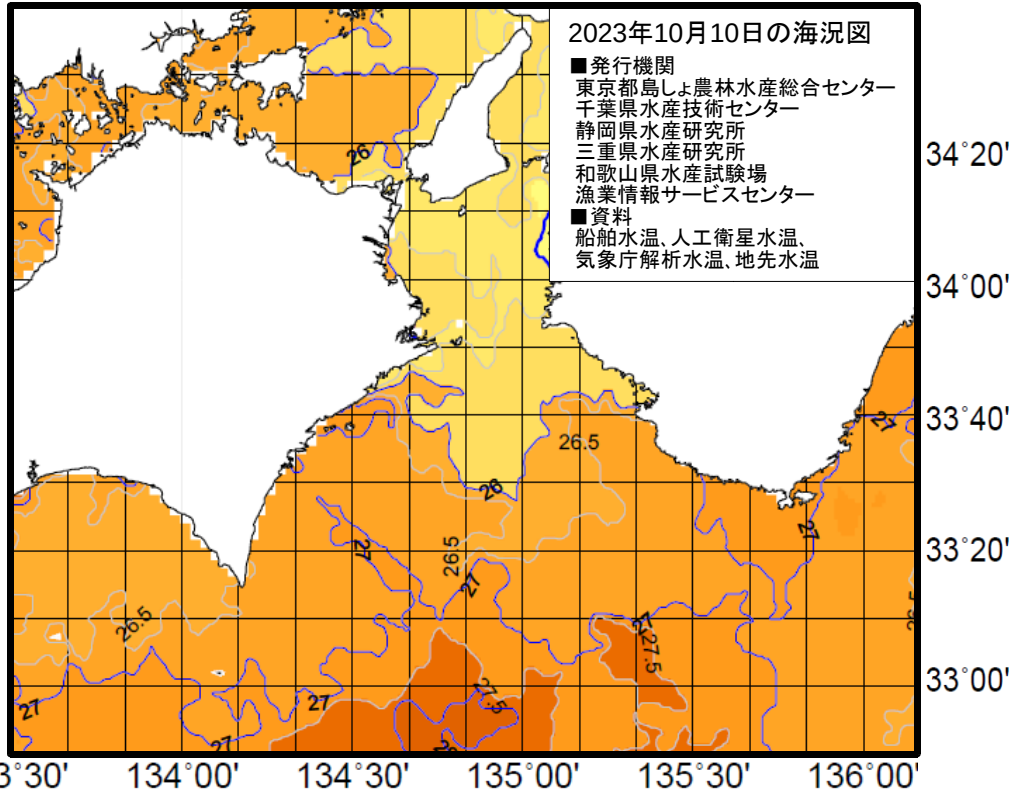
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖72マイル付近、潮岬沖60マイル付近を流れ、室戸で「著しく離岸」、潮岬で「離岸」している。黒潮は四国沖では離岸が続いている。しかし今後、短期的には近づいたり離れたりと変化するものと予測されている。

黒潮の表面水温は27～28℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘と紀伊水道は25℃、海部沿岸は25～26℃台となっている。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖	接岸：～25NM	やや離岸：25～45NM	離岸：45～65NM	著しく離岸：65NM～
潮岬沖	接岸：～26NM	やや離岸：26～56NM	離岸：56～86NM	著しく離岸：86NM～

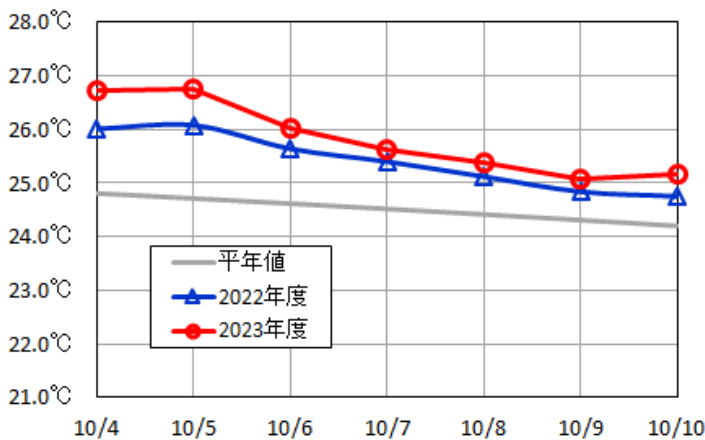
※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

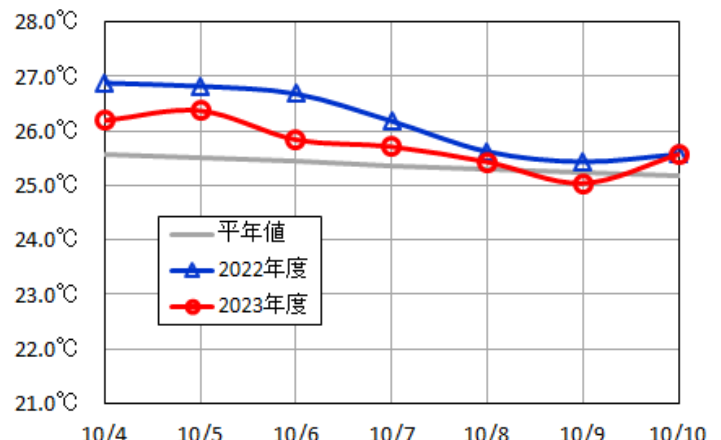
2. 地先水温(10月4日～10月10日)

鳴門地区の水温は、25.0～26.7℃で「高め」から「やや高め」、浅川地区は、25.0～26.3℃で「やや高め」から「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は-0.5～0.4℃で、ほとんど差はなかった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(10月11日～10月17日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「著しく離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや高め」、浅川地区は「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (10月2日～10月8日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：5)

船びき網では、シラスが増えて50.1ト水揚げされた。
 延縄では、ビンナガが0.3ト、あまだい類が0.2ト水揚げされた。
 建網では、カワハギが大きく増えて大主体に1.2ト、タカノハダイが大きく増えて0.7ト、メジナが大きく増えて0.4ト、イラが大きく増えて0.3ト、イシガキダイが大きく増えて小主体に0.3ト、ころだい類が大きく増えて大主体に0.3ト水揚げされた。
 小型定置網では、マルアジが減って小主体に0.6ト、マアジが0.4ト水揚げされた。
 底びき網では、イボダイが大きく減って1.4ト、えそ類が大きく減って1.3ト、ハモが大きく減って中主体に0.9ト、いとより類が増えて0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、カツオが大きく増えて2.2ト、キハダが大きく減って1ト、スマが減って0.2ト水揚げされた。
 小型定置網では、かます類が大きく増えて0.9ト、マアジが大きく増えて0.2ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.15 トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	74	シラス	50,085	677		↗
	延縄	14	ビンナガ	266	19		→
		23	あまだい類	165	7		→
	建網	185	カワハギ	1,172	6	大主体	↗↗
		144	タカノハダイ	654	5		↗↗
		94	メジナ	429	5		↗↗
		119	イラ	336	3		↗↗
		152	イシガキダイ	300	2	小主体	↗↗
		74	ころだい類	280	4	大主体	↗↗
	小型定置網	14	マルアジ	563	40	小主体	↘
		15	マアジ	420	28		→
	底びき網	17	イボダイ	1,440	85		↘↘
		18	えそ類	1,349	75		↘↘
		18	ハモ	895	50	中主体	↘↘
13		いとより類	300	23		↗	
海部沿岸	釣り	7	カツオ	2,158	308		↗↗
		13	キハダ	985	76		↘↘
		27	スマ	194	7		↘
	小型定置網	17	かます類	888	52		↗↗
		4	マアジ	199	50		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘